



ふちゅう井戸端会議

地域を学ぶ	—	地域でつながる	●	地域に還す	—
-------	---	---------	---	-------	---

1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習内容
第1回 平成30年 8月26日(日) 13:00~17:00	府中市 生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ○趣旨, 目的, 流れ等の説明 ○チェックイン (参加者の状態や気持ちの共有), アイスブレイク ○講師 (まちづくりに関わる人) の活動紹介 ○活動紹介の中で感じたことをグループ内と全体で共有 ○ワーク「まちづくりについて」「府中, あるいは自分の住んでいる町の好きなところは?」(2人組) でインタビュー ○興味・関心事が似た人とグループワーク ○全体シェア (各グループで出た意見を発表する)
第2回 9月30日(日) 13:00~17:00		<ul style="list-style-type: none"> ○趣旨, 目的, 流れ等の説明 ○チェックイン (参加者の状態や気持ちの共有), アイスブレイク ○ファシリテーション講座「場づくりの説明 (物理的デザイン+心理的デザイン)」 ○実際に様々な技法を体感する。
第3回 10月14日(日) 13:00~17:00		<ul style="list-style-type: none"> ○趣旨・目的・流れ等の説明 ○チェックイン・アイスブレイク ○講師のデザイン等活動の紹介 ○グループ交流「もっと知りたいこと」「ヒントが得られたこと」(4人組) ○質疑応答 ○チラシ作り講座 ○チラシ作りワーク (レイアウトを考える)



対象	まちづくりや市民活動に興味のある人
経費	講師謝金 37,800円 (2日分打合含), 講師補助 5,760円 (1回あたり), ゲスト講師 10,000円 参加費無料
連携先	第1~3回 講師: 小谷直正 (ファシリテーションびんご) ゲスト: 水主川緑 (NPO法人府中ノアンテナ代表理事)

問合せ先

府中市教育委員会生涯学習課

府中市府川町315番地

電話 0847-43-7181 ファクシミリ 0847-46-3450

2 講座設定の理由（学習の目的）



- 学びの機会及び交流の場を提供することで将来の地域づくりを担う若手の人材を育成し、地域社会が活性化していくシステムを構築する。
- 地域の連帯感や支え合いの意識が希薄になってきている中で、人と人とのつながりを持てる場を設定することで、人と人とのマッチングや人材発掘に繋げる。

3 学習目標



- 全 体：まちづくりについて関心事を深めることとそれを形にするための技法を学ぶこと。
第1回：まちづくり活動している人の話を聴き、参加者のやりたいことを発掘し、参加者同士で交流する。
第2回：ファシリテーションの技法を学ぶ。
第3回：デザインの大切さを知り、実際に伝えることを重視したチラシをつくる。

4 事前に必要な知識や準備物



- ホワイトボード、模造紙、プロジェクター、スクリーン、名札、アンケート用紙等
- 講師との連携
- おかしや飲み物（カフェのような雰囲気づくり）

5 留意点



- 講師との打合せ（月1回以上）
- 広報（町内会回覧板、公共施設へのチラシ等設置、企業へのチラシ配布、HP、フェイスブック）
- 参加者にメールアドレスを聞いておくことで次回や別の事業の案内を送れるようにする。

6 成果



- 幅広く広報を行ったため、企業からの参加者もいた。
- 参加者同士をマッチングさせることができ、新たな活動に繋げることができた。
- アンケート結果：「活動したいと思った（50%）」「他の人の話に興味をもてた（50%）」

7 課題



- 対象が広すぎた。もう少し年齢層を絞るなどしていかないといけない。
- すぐにアウトカム（波及効果）が出るものではないため、経過についてアンテナを張って地域の情報を集めていかなければならない。
- 広報紙の内容が分かりにくいという指摘があった。（どのような内容でどのようなことをするか）
- 設定時間が4時間だと長く感じる。（実際はワークショップ等を行うので体感時間は短く感じるのだが）

8 今後に向けて



- 公民館の職員にも参加してもらってノウハウを学んでもらい、各公民館で職員がファシリテーターとなってまちづくりへの取組につなげていく。
- 対象を絞っていくとともに分かりやすい広報を心掛ける。
- 地域の行事とも重ならないような日程を組んで実施していく。